

報道関係各位

2019年3月18日

## 2019年度「iF デザイン賞」受賞

モリタ 21m ブーム付多目的消防ポンプ自動車 MVF21

～ヒーローである消防隊員にとって最高の相棒となることを願ってデザイン～

株式会社モリタホールディングス

当社(本社:大阪・東京、代表取締役社長:尾形和美、東証1部)と、当社の連結子会社である株式会社モリタ(本社:兵庫・東京、代表取締役社長:尾形和美)が開発し、東京国際消防防災展 2018 に出展した「21m ブーム付多目的消防ポンプ自動車 MVF21」が、世界的に有名なドイツのデザイン賞「iFデザイン賞」の「プロダクト部門」において「iF デザイン賞」を受賞いたしました。

iF デザイン賞は、iF インターナショナルフォーラムデザイン(ドイツ・ハノーバー)が世界中の工業製品を対象に毎年開催している国際的に権威のあるデザイン賞です。2019年度は、世界 52 カ国から 6,375 点の応募があり、67 名のデザイン専門家による厳正な審査の結果、「21m ブーム付多目的消防ポンプ自動車 MVF21」に高い評価が与えられました。



MVF21 は、当社の連結子会社であるフィンランドの BRONTO SKYLIFT OY AB とモリタがお互いの技術を活かして開発した 21m のブームと最大 4,000N 対応のバスケットを搭載。高所での活動だけでなく、車いすに乗ったままのバスケット搭乗、救助が可能になりました。少量の水で消火活動ができる CAFS 装置と 900ℓ の水タンクを搭載しながらも十分な収納スペースも確保。多様化する火災現場での消火、救助活動に応える多目的な消防ポンプ自動車です。

## ■デザインに込めた思い

複雑多様化する災害時の救助の現状を徹底的に調査した結果、救助困難な人々がいること、消防隊員が直面する様々な危険や困難が課題として露呈。建物火災や河川災害などで逃げ遅れた人々を一人でも多く安全に救出したいという強い思いから MVF21 をデザインしました。これまで不可能であった車いすに乗ったままのバスケット搭乗・救助や、隊員が安全に消防活動を行えるよう使い勝手を追求したデザインなど、消防活動の可能性を飛躍的に広げます。MVF21 が、ヒーローである消防隊員を手助けする最高の相棒として活躍することを願っています。

■MVF21 特長・詳細:[https://www.morita119.jp/fire\\_engine/mvf/21m/feature.html](https://www.morita119.jp/fire_engine/mvf/21m/feature.html)

■iF デザイン賞公式サイト MVF21 掲載ページ:

[https://ifworlddesignguide.com/design-excellence?filter=%7B%22filters%22%3A%5B%7B%22type%22%3A%22categories%22%2C%22ids%22%3A%5B587%2C602%2C608%2C597%2C611%5D%7D%5D%7D&time\\_min=2019&time\\_max=2019#/pages/page/entry/255861-mvf21](https://ifworlddesignguide.com/design-excellence?filter=%7B%22filters%22%3A%5B%7B%22type%22%3A%22categories%22%2C%22ids%22%3A%5B587%2C602%2C608%2C597%2C611%5D%7D%5D%7D&time_min=2019&time_max=2019#/pages/page/entry/255861-mvf21)

本件に関するお問合せ先

株式会社モリタホールディングス 広報室 担当:森田 TEL:03-5777-5088